

ウポポイ入場や博物館入館 オンライン予約を町が代行します（試行）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ウポポイや博物館は現在、入場・入館制限を行っており、オンラインによる事前予約が必要となっています。

町は、試行的に受付窓口を設置し、インターネット環境がない方のために、町職員が町民に代わってオンラインによる予約を行い、「ウポポイ入場日予約券」および「博物館入館整理券」を配布しますのでご利用ください。

日 時	毎週月・木曜日 9時～17時（9月試行）
場 所	役場1階 特設会場（町民課横）※ウポポイ年間パスポート申込窓口と同じ場所です。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・町民が対象です。 ・2週間先までの予約しかできません。 ・修学旅行の予約のため、希望する日時に入場・入館できない可能性があります。 ・ウポポイ1日券（有料）の購入はできません。

問い合わせ先：アイヌ総合政策課 アイヌ総合政策グループ ☎82-7739

ポロトミンタラフェスティバル

8月

8月の同フェス（ロングライイベント）は、1、2日の町社会福祉協議会による「しらおい笑顔まつり」でスタート。



キノコの販売や福祉団体・施設利用者などが製作した編みかご、木工品、陶芸などが展示販売されました。福祉ネイルや共同募金のPRなども行われ、来場者が福祉の心に触れました。8、9日はコロナ禍の中、夏休みに入った子どもたちのために「子ども祭り」を開催。コロナ対応に配慮した小規模イベントながら、久々の催しに子どもたちはマスクの下に笑顔を見せていました。15日以降の土曜日は、しらおいバーガーをはじめとした飲食や白老観光商業協同組合によるアイヌ工芸品の展示販売も行われ、来場者を楽しませました。



知っておこう アイヌ文化

アハ

イランカラプテ。まもなく季節は秋（チュク）を迎えます。実りの秋、食欲の秋…。あらためておいしい恵みを私たちに与えてくれる自然に感謝したいものです。さて、今回はアイヌ民族が食材として活用してきた、アイヌ語でアハ、日本語ではヤブマメやツチマメなどと呼ばれる美味な豆をご紹介します。ヤブマメは日当たりの良い野原や道端で、つるを他の植物に絡めて伸び、白と紫の可愛らしい花を咲かせ、小さなサヤインゲンのような豆をつけます。しかし、アイヌ文化では、この地上の豆は食用とせず、地中5～6cmくらいの深さにある、小豆から大豆くらいの大きさの丸い豆（アハ）をきれいに洗って、表面の皮をむき、ご飯に炊き込んで食べます。アハは春先、または秋にシツアップと呼ばれる踏みすきを使って採取しますが、色や形、大きさが小石と紛らわしく、一株から5、6個ほどしか採れないので、掘るのに少し苦勞します。かつては、アハだけを炊いて、油をつけて食べたといいますが、かなり広く群生している場所があって、豊富に採れたに違いありません。気になるアハのお味は？。9月30日(水)に開催予定の山のイオル「穀物採取体験」にて、アハご飯の試食を行う予定です。体験の詳細は本紙の「くらし百科 催し」にある「イオル体験交流事業」を参照してください。参加をお待ちしています。



アイヌ総合政策課 アイヌ総合政策グループ 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301